

平成26年度決算の概況

下水道事業は、快適な生活環境の確保や、川や海など公共用水域の水質を保全するとともに、雨水排除により浸水から市民の生命・財産を守り、安全で衛生的な市民生活を支える上で重要な役割を担っています。

このため、本市下水道事業は、平成25年3月に策定した「岡山市下水道事業経営計画」に基づき、平成26年度も事業を実施しました。

平成26年度に実施した事業としては、汚水処理対策の面で、人口集中地区等を中心に、未普及地域の早期解消のため、効率的な汚水処理施設整備を進めるとともに、併せて公共下水道への接続の促進に引き続き取り組みました。

浸水被害を軽減するための雨水対策として、浦安ポンプ場の雨水ポンプ増設を完成させ、新たに当新田ポンプ場の雨水ポンプ増設及び平田雨水渠等の整備に着手しました。また、老朽化した管きょの更生工事及び地震対策上重要な管きょの耐震診断を行いました。

天瀬ポンプ場、岡東浄化センターにおいては、国の下水道長寿命化支援制度を活用し、老朽化した施設の改築・更新工事に着手するとともに、笹ヶ瀬ポンプ場等の長寿命化計画策定にも取り組んでいます。

さらに、環境保全対策として、旭西排水センターにおいて、合流式下水道改善施設整備事業を完成させ、雨天時に汚濁負荷の高い初期雨水を一時貯留することにより、放流水の水質改善を図りました。

災害時の対応としては、大規模地震や津波の影響を最小限に留め、速やかに下水道が果たすべき機能を維持・回復させるため、下水道業務継続計画（BCP）を策定しました。

今後とも、より安全で快適な生活環境を実現するため、汚水処理施設整備の促進による未普及地域の解消に取り組み、雨水排水排除による浸水被害の軽減、併せてライフサイクルコスト最小化の観点を踏まえ、効率的な事業運営による経費節減と経営の効率化に努めます。

以下のグラフは下水道事業の決算状況を性質別に示したものです。

